レッスンSPA.NO.35

テーマ：現在のパーソナリティーの構成

SPA35/KE7/11/A97

私の姉妹・兄弟たち、

スピリット、光、日の子供たちよ。私たちは常に主、絶対、主の聖性に包まれています。

過去に私たちは14芒星、14のポイントについて述べました、ベツレヘムの星です。そしてその星の各ポイントは現在のパーソナリティーの現れのステーションを示していると述べました。ステーションという時、それは現れのレベルのことです。言い換えれば、これは啓発へ向けてのステップのことです。現在のパーソナリティーがそれぞれのステーションを表現するレベルに到達するためには、そのパーソナリティーはそれを達成するために一生懸命に努力する必要があります。なぜなら、それは現在のパーソナリティーがインナーセルフ、真の本質、生の特質をもっともっとより多く表現するようになることを意味するからです。

実際、この星は素質的可能性のサイクルであり、それは天上人、生それ自体によって現在のパーソナリティーに与えられたものです。人間が素質的可能性のサイクルに完全に従うか否かは、別問題です。通常、人間はその人自身の蓋然的可能性のサイクルに従っています。

さて、この星は実際に天上人を意味しており、それはマギ（＊キリスト降誕の際に礼拝に来た東方の三博士）を最愛のお方が誕生する土地まで導いた星です。この星は全ての人の中にあり、それは創造界における全ての人間を活性化させるスパークですが、同時にそれはあらゆるもののスパークなのです。それは創造界におけるあらゆるものが泳いでいる海、生の海です。

以前、創造の元型および創造の小部屋（セル）である天上人について述べました。そして生が創造界において完全に表現されるためにはマインドを使わねばならないと述べました。言い換えれば、それはプロトタイプ（＊原型、基本型）と同一です。もし現れがそれを通じて表現される手段が、そのプロトタイプと同一でなければ、生は完全に表現されません。それは創造界の法則です。ですから現在のパーソナリティーとしての人間は現れの限界、つまり無知のなかに入るのです。なぜなら、無知のなかにいる間に人間が現れのために使用している手段はこのプロトタイプと同一でないからです。

肉体についてはどうでしょうか？肉体は現在のパーソナリティーではありません。

**実際には現在のパーソナリティーとは、五つの超感覚によって見ることはできても五感では見ることができない不定形の諸体なのです**

**；それらの諸体は以前述べたように不定形であり、肉体と同一の形ではありません。最初は球形をしており、それら全部はハートのセンターに根付いています。**

それゆえに現在のパーソナリティーは生の特質を現わしていないのです。現在のパーソナリティーは生の現象であり、生の影であり、アイコンです；主の似姿になっていません。

生命の木、つまり創造のセル（小部屋）上における現在のパーソナリティーの三角形は小宇宙的には他の二つ、つまり父およびキリストロゴスと同一ですが、実際には同一ではありません。ですから私たちはこの三角形を同一にするべくワークする必要があります。

しかし、それに成功するためには実際に二つの体にワークする必要があります。プロトタイプとマッチする形になっていない体は実際には三つありますが、私たちは二つの体についてワークするのです。ノエティカルおよびサイキカル体についてワークしますが、実際には同時に二つの体にワークします。いわゆるサイコノエティカル体です。

さて、サイコノエティカル体、いわゆる不定形のサイコノエティカル体とは何でしょうか？

以前のレッスンで述べたように、それはいわゆる永遠のアトムであり、それは来ては去る乗り物であり、現在のパーソナリティーを転生させます。再形成があるステートに到達すると、それは留まり、変わりません。何であれ私たちが獲得するものは失われず、次の転生のために役立ちます。

Page2

さて、前に三つの体について述べました。三つ目の体とは分離した体として使うことのできる体ではありません。実際、その体はエーテルから出来ており、肉体の健康を示しています。その体は肉体のなかで徐々にゆっくりと拡大して、肉体に良好な健康を提供します。そのエーテル体の再形成は他の二つの体の再形成の後に続き、実際他の二つの体次第ということになります。

ですから、現在のパーソナリティーが物質界での現れのために使う体としての肉体があります。この体は聖霊的に築かれています；それは私たちのために築かれ、私たちはそれを使います。私たちはそれには全くフォーカスしません。そして前のレッスンで述べたように、この体は純粋に地のエレメントで出来ています。現象的にはその主となるエレメントは水ですが、実際にはその水のエレメントは全く肉体には属していません。それは物質のなかにあって肉体を活性化し、現在のパーソナリティーの他の二つの体とつなげます。

もし肉体から水のエレメントを取り去ると、肉体は分解して地に戻ります。しかし、水のエレメントはどこに戻るのでしょうか？水が蒸発するとそのエレメントはどこに行くのでしょうか？空に。そうです、しかしそれは実際に空(air)のエレメントに入るのでしょうか？違います。それは水のエレメントとして留まりますが、水のエレメントより高いバイブレーションとなります。ですから、水のエレメントには別のバイブレーションもありますが、地のエレメントはそうではありません。地のエレメントは私たちが知っているバイブレーションのままです。

ですから、思考・行動の仕方としての現在のパーソナリティーは不定形の諸体、つまりサイコノエティカル体の再形成に依存しています。それらの諸体は三つのエレメントだけで成り立っています：水、エーテル、火という三つのエレメントです。それら三つのエレメントは何から出来ているのでしょうか？それはマインドです。それらのエレメントは実際にマインドなのでしょうか；どう思いますか？過去に、全てはマインドであり、マインドを通じて現れがある、と述べました。全てはマインドですが、またマインドが存在するためにはそれを活性化する生の海が必要であると話しました。

他のエレメントについてはどうでしょうか？そうです、様々なエレメントはマインドの異なったバイブレーションであり、特定の目的に奉仕するためにエーテル・バイタリティーによって活性化されたものです。

前に三つの高次のエレメントについて述べました。それらのエレメントとは電気、磁気、エーテルです。それらはノエティカル、サイキカルあるいは肉体であれ、現在のパーソナリティーの諸体には知られていないエーテルです。このエーテルは諸体には全く関係しておらず、ずっと高いバイブレーションです。ですから、それら三つの高次のエレメント、それらは実際に生の海における質です。

生のより高いバイブレーションのなかでは、つまり存在の諸世界において、私たちはそれら高次の三つのエレメントに遭遇することができるのでしょうか？答えはイエスですが、実存の諸世界で私たちが知っているエレメントは、それら高次のヘブンにはもはやありません。そこではそれらは目的にそぐわないからです。

過去において、現在のパーソナリティーが死の現象によって肉体を去ると、現在のパーソナリティーはエーテル界を通過してサイコノエティカル界、ある特定の層あるいは亜層に入ると述べました。その層あるいは亜層はその特定のパーソナリティーの気づきのレベルを意味します。

さて、もしその現在のパーソナリティーが非常に低いバイブレーション、あるいはアンバランスなパーソナリティーであるなら、そのパーソナリティーは助けを与えられるためにある場所に入ります。それは牢獄ではなく病院のようなものであり、不可視のヘルパーと呼ばれているパーソナリティーたちがそれらのパーソナリティーを助けます。彼らの大部分は眠りのステートに入りますが、なかには前に述べたようにその場所を去ろうと試み、それに成功する人もいます。なかには、エーテル界を通過することによって物質界で自分自身を現わそうと試みる人もいます。それについては過去にお話ししました。

それはどのように行われるのでしょうか？（＊眠っていない）それらのパーソナリティーたちはエーテル界でも目が覚めているのでしょうか？エーテル界にはきちんとした生の現れがあるのでしょうか；どう思いますか？多くの人々がエーテル界について述べています。そこには生命、命があるのでしょうか？どう考えますか？答えはノーです。エーテル界というそのステートは物質をサイコノエティカル界とつなげるためだけのステートです。もしサイコノエティカル界で眠りのステートにあるパーソナリティーが、起きようとして、目を覚まそうと試みたら、何が起きると思いますか？それは非常に低いバイブレーションなのでエーテル界に入り、そして物質、誰かの肉体のエーテルに関係する体を捕らえようとします。それが痙攣、その他として知られている現象です。

Page3

ですから実際、ある肉体に取り付こうとしているそのパーソナリティーに責任はないのです；目覚めていて意識的にやっているわけではありません。あなた方のなかにも似たような体験をした人がいるかもしれません；眠っている間に目を覚まそうとしてもできません。それらのパーソナリティーたちにもそれと似たようなことが起きているのです。彼らは物質のバイブレーションのなかで目を覚まそうとしています。彼らには肉体がありません。彼らはエーテル界におり、彼らによって使用されている体は肉体です。その肉体が人間あるいは動物の体であろうと同じです。動物たちにもそのような現象（＊取り付かれる）が生じます。

あなた方は「なぜだろう。動物にもサイコノエティカル体があるのだろうか？」と問うかもしれません。答えはノーです。動物にその現象が生じているのを見ることによってその体験から抜け出す、そのためにだけそれが起きるのです。実際、そのコネクションとはある特定の目的のために、人間がそれから体験を得るために、その特定の動物への本能をゆるめることです。その人ではありません、その肉体を得ようとしている人、そのパーソナリティーはいかなる体験をもしません。それはその現象を見ている人間のためです。

ですから、エーテル界はいずれにしてもきちんとして生の現れのステートではありません。そこにはきちんとした生、現れはありません。それは物質界とサイコノエティカル界をつないでいます。そのエーテル的ステートはサイキカル体あるいはノエティカル体のダブル・エーテリックとは似通っていません。むしろ、肉体の物質のエーテルダブルのバイブレーションと関係しています。それは肉体のダブル・エーテリックが肉体から離れた後に入る海です。

さて、水のエレメントのマスターに向けたエクササイズをいくつか行いました。マスターに向けてと言いましたが、それらのエクササイズに成功した後で私たちは実際に水のエレメントをマスターするようになるのでしょうか？答えはノーです。それらは単なるエクササイズであり、現在のパーソナリティーがそのエレメントをある程度味わうことができるようになるためです…それが水あるいはエーテルあるいは火のエレメントであろうとも。それらのエレメントのマスターに向けた本当のワークとは、気づきの上昇に向けたワークなのです。それらのエクササイズはある程度までは助けになります。それはそれらのエレメントと知り合いになるようなものです。しかし、ワークは水のエレメントだけでなく、同時に他の三つのエレメント、水、火、エーテルの各エレメントについてのワークでもあります。

今晩、私たちは別のエクササイズを行います。火のエレメントも使います。エクササイズの後で、もし質問があればそれらにお答えしましょう。それではエクササイズを行いましょう。

SPA35/エクササイズ１

静かに座り、心を騒がせているもの全てを解き放ちます…真っ白な自分自身をイメージし、自分の形の境界を感じます…そして真っ白な五芒星のなかで守られている自分自身を見ます…あなたは今部屋の真ん中で立っています…現在のパーソナリティーがよく知っている部屋です…今、その部屋の空間全体がホワイトブルーの輝き、光によってカバーされ、包まれているのを見ます…ホワイトブルーの輝きがあなたのその部屋の空間全体をカバーし、包んでいます…あなたもまたそのホワイトブルーの輝きによって包まれています…そしてそれによって包まれていることによって、あなたはとても静かに感じています…それに包まれている静寂さがあり、あなたの現在のパーソナリティーはその静寂の影響を受けています…

あなたの現在のパーソナリティーに静寂、平安、調和を与えているのはガブリエルによって包まれているからです…それに包まれることによって、あなたのサイキカルなステートのなかにある嵐を静めてくれるように願います

Page 4

あなたは今右側に何かを感じています…何か暖かさを与える感触を感じ、それは右側から来ています…今右を向くと、そこでは右側の壁から部屋に別の輝きが放射されているのが見えます…その輝きは赤い色をしています…赤い輝きが部屋のなかに放射され、今あなたは身体に暖かいものが触れているのを感じています…徐々に、少しずつこの輝きは広がってあなたの身体に触れます…あなたはこの赤い輝きのなかにあり、今この光は部屋のなかにあります…お互いに邪魔することなく、色が混じり合うことなしに、二つの異なった輝きがあります…一つの輝きはホワイトブルーでもう一つは赤色という二つの異なった色で、一つの色は静寂と落ち着きをもたらし、もう一つの輝きは何であれあなたについているシミ、汚れを焼き払い、現在のパーソナリティーを純粋にします…それはあなたの真の本質の現れにマッチしないものを全てを焼き払います…実際それはミカエルの抱擁です…あなたの現在のパーソナリティー全体の健康を願います。

さて、あなたは今別の場所に立っています。その場所はホワイトブルーの輝きに覆われています…今、赤い輝きは見えません…それはまるで戸外のように見えますが、あなたが立っているところが戸外であろうと部屋の中であろうと構いません。離れたところにあるものは何も見えず、あなたに見えるものはあなたのすぐ近くで生じていることだけです…それは床から生じており、そこで起きているものは火です…火が床から来ていますが、しかし何も燃えているものは見えません…火が見え、床から炎が上がっています…しかし、何も燃えているものは見えず、煙も燃えているものも見えません…それらの炎、煙や音ののないクリヤーな炎を見て下さい…そしてそれらの炎から三角形が作られています…それらの炎があなたの前で燃えている三角形を形成し、その炎の三角形の高さはあなたの身長よりも約30センチ高く、あなたから三歩ぐらい離れた位置にあります…炎の色は赤みを帯びた金色で、クリヤーな赤金色です…その炎、火の結果、あなたは自分が解放され自由になるのを感じます…あなたはどんどん軽くなるのを感じます…あなたは解放されていきます…あなたは何か引かれるものを感じて、その火にもっと近づきたいと思います…その火に向かって右足を一歩前に出します…火に少し近づいたことによってさらに軽くなるのを感じます…もう一歩進み、とても近くにきました…もう一歩進み、今や炎があなたの身体の前面に触れていてとてもいい気持ちです…とても軽く感じます…そして左足でもう一歩進み、今炎の真ん中に入りました、火の三角形の中央です…あなたはこの火の炎によって抱かれています…その火の抱擁を感じてください、それを感じて下さい…その抱擁はあなた自身の純白性についているシミ、汚れを全てそれが何であれ完全に浄化します…何か上昇するのを感じます、まるで身体の重みがないかのようです…それを感じます…まるで炎のなかに浮いているかのようです…それはミカエルによる抱擁です…あなたの現在のパーソナリティー全体の健康を願います、そしてあなたの真の本質の現れにマッチしないものは何であれ背後に残されるように願います…

気づきの上昇に向けてあなたを助けているもの全てに感謝を捧げます…特にいつもあなたと一緒にいるそれらのアークエンジェル達に感謝します…そして最愛のお方の祝福とアガピがあなたと共に、あなたの家庭に、あなたの愛する人々に、そして世界全体にあることを願います。

私たちは常に主、絶対、主の聖性に抱かれています。終わります。

質問

質問：地のエレメントによる肉体は聖霊的現れであり、パーソナリティーはそれ自身を表現するためにその肉体を使うと言いましたね。しかしまた、エーテル的パーソナリティーがその同じ肉体に入って体験しようと試みる、とおっしゃいました；そのパーソナリティーの場合、何が起きるのですか？

Page5

Ｋ：彼らは何も成功するわけではありません、なぜなら彼らのサイコノエティカル体が取り付こうとするその特定の肉体と一つになることはないからです。確かに、彼らは肉体を得ようとし、眠っているステートから目覚めようと試みるのですが、勿論それは不可能です。その時に生じるのは、その肉体のなかにいるパーソナリティーは“侵入者”を押し出そうとして、痙攣という現象が生じます。侵入者にしても、侵入されそうになるそのパーソナリティーにとっても、別に心配することはありません。その（＊侵入されそうになった）パーソナリティーの知能的発達が遅れているというわけでもありません。単に肉体とサイコノエティカル体とのコネクションがゆるんでいただけです。

質問：どのようなパーソナリティーが低バイブレーションのエンティティー（＊肉体を去った実体）となるのでしょうか？

Ｋ：低バイブレーションのエンティティーはいわゆる本能的セルフ・エピグノシス、あるいは潜在意識的セルフ・エピグノシスのレベルを現わしています。（高い気づきのレベルにあるパーソナリティーについて述べているのではありません）、そのような低い気づきのレベルの場合、現在のパーソナリティーにアンバランスが生じており、そのために煉獄のような状態にあり、助けを必要としています。他のパーソナリティーたちは眠りのステートにはなく、目覚めています。眠りのステートに入っていません。いまだに物質界にいるというイリュージョンを彼らが抱いているかどうかは、全く別の問題です。何であれ彼らがそこで創造するものは、彼らにとっては真実です。彼らは目覚めよう試みることはしません、目覚めています。

私たちが今述べているのは、他の人々に干渉しないように、他の人々に“痛みを生み出す”ことのないように、眠らされているパーソナリティーです。彼らは非常に低いバイブレーションのゆえにそのようなことをしようとします。いいですか、彼らは自分たちのイリュージョンのなかにあっても満足していません。彼らは何であれ自分を満足させるようなことをしようとします。彼らは肉体のなかで生きていた時に親しんでいたのと同じような環境を創造しようとします；そしてもし他人を殺すことに満足を感じるなら、彼らはそれを創造し、それは結果をもたらします。そこにいるパーソナリティーにインパクトを与えます。それゆえに低いバイブレーションのパーソナリティー達は眠らされるのです。そのようなパーソナリティーはエーテルの海にいて目を覚まそうとします。最終的には肉体に侵入し、他の人の肉体を支配しようとします。

質問：死の現象によって人々は眠っている、と言われますが。

Ｋ：それは別の問題です。死の現象の後、誰でも眠りのステートに入ります。ほんの数日間です。しかし、それはこれとは全く関係ありません。そのようなパーソナリティーについて、そのようなステートについて話しているのではありません。

質問：あなたはしばしば霊媒についてお話しすることがありますが、霊媒のなかに入るエンティティー、パーソナリティーはどうなのですか？彼らは目覚めているように見え、彼らが霊媒を通して話すときには実際に合体していますね。

Ｋ：良い質問です。その場合、何が起きているのでしょうか？霊媒を通して自分を現わそうとするエンティティーたちは、今夜私たちが話したようなエンティティーでしょうか？答えはノーです。**それらのエンティティーたち、つまりそれらのパーソナリティー達は**サイコノエティカル界の低次の層、低次の亜層にいて、エーテル界にいるわけではありません。しかし、勿論、誰かを通して現れる、誰かを通して自分の存在を感じさせるためには、彼らはエーテル界に入る必要があります。しかし、ここで“しかし”があります。実際、彼らは生の海とは何のつながりもありません。彼らには活性化されるべき肉体がなく、活性化されるべき肉体のダブル・エーテリックもありません。それゆえ彼らは霊媒から、あるいはそのような霊媒のセッションの参加者全員から物質のエーテル・エネルギーを吸い取ります。高いバイブレーションのエンティティーは決してそのようなことはしません、つまり霊媒に接触するようなことはしません。決してありません。それゆえに私たちはそのような現象には反対しているのです。

質問：なぜ、彼ら（＊高いバイブレーションのエンティティー）は決して霊媒と接触しないのですか？

Ｋ：なぜなら、誰も自分の存在を感じさせるために他人からエネルギーを吸い取るようなことはしないからです。

質問：彼らは別のやり方でするのですか？

Ｋ：そのようなことをする何の理由もありません。いずれにしても、そのような現象によって人間が助けを与えられるわけではありません。人間にとって最も重要なことは気づきのレベルを上昇させようとすること、常により良いセルフを現わすことです。あなた方のなかには“しかし”と言う人もいるかもしれません。「私たちが接触しようとするパーソナリティー達、私たちが同調しようとするパーソナリティー達、彼らは非常に良く知っており、英知のレベル級の知識を現わす人もいる。彼らは秘密も知っている。私たちが呼んで接触するのは特別なパーソナリティーなのだ」と結論づけるかもしれません。それはそうです。なぜなら、向こうの世界では五つの超感覚を使って現わすからです。サイコノエティカル体が使う感覚は五つの超感覚であり、一人が知っていることは他の誰でもが知っています。ですから、あなた方が呼ぼうとするパーソナリティーはあなた方が知りたいと思うことは何でも知っており、他のパーソナリティー達が知っていることであなたが聞きたいと思うことを何でも知っています。これが霊媒セッションの現実です。

真剣な真理の探究者がやるべきことは気づきを高め、現在のパーソナリティーの不定形の諸体を再形成し、それらの諸体を肉体とは分離した体として使うことです。そして不可視のヘルパーとして超意識的にサイコノエティカル体を別の体として使います。そして別の世界を訪れ、特に私たちが先ほど述べた煉獄のような世界を訪れます。しかしまた不可視のヘルパーとしてその人はこの（＊物質的世界）世界に留まって助けることもできます。それは適切なやり方です。低バイブレーションのところへ行って訪問することをせずに助けます。なぜなら、やってくるエンティティーたちはこのバイブレーション（＊物質界）に非常に近いところにいるからです。彼らは地上にフォーカスしており、彼らは地に非常に強い魅力を抱いています。

質問：私たちが存在の諸世界とのボーダーライン（＊境界）に到達するとき、不定形の諸体は最終的にどうなるのですか？

Ｋ：不定形の諸体は全部が非常に光輝いた状態になり、それらはスーパーサブスタンスから出来ています。なぜなら、自己実現したパーソナリティーのサイキカル体でさえも意思によってノエティカル体のなかに同化することができるからです。そして自己実現したパーソナリティーのノエティカル体はサブスタンスのバイブレーションではなく、スーパーサブスタンスのバイブレーションであり、スーパーサブスタンスはマインドの海であり、そこではあらゆるものが泳いでいます。そのような現象は唯一の目的のために行われます。

もしパーソナリティーが聖なる意思によって、別の惑星、別の太陽系、別の銀河に助けを与えるよう指示された場合、別の惑星、別の天体を訪れる唯一の方法はスーパーサブスタンスの海を通じてです。使われる体はマインドのそのようなバイブレーションである必要があります。そしていわゆる二番目の死という現象があります。それは実際の死ではなく、サイキカル体が高次ノエティカル体のバイブレーションのなかに同化するのです。

さて、不定形の諸体に何が起きるのでしょうか？それらはスーパーサブスタンスの海に入ります。なぜなら、高次ノエティカル界にはもはや形の境界は存在せず、それらは形のない世界なのです。

私たちは常に主、絶対、主の聖性によって抱かれています。

EREVNA SPA 35/KE7/11